

＼ 9/9は救急の日 ／

問 健康課(内線7513)



9/3(日)～9(土)は救急医療週間

急な病気やけがをしたときは、誰もが慌ててしまいがちです。次の三つを普段から心掛けて、急な事態に備えておくことが大切です。

1 かかりつけ医を持ち、通常の診療時間内に受診する

「かかりつけ医」とは、日頃の患者さんの健康状態を把握し、病気や健康などの相談に乗ってくれる身近な医師のことです。自宅近くにかかりつけ医を探しておきましょう。



2 「救急電話相談」または「AI 救急相談」を利用する(15面参照)

急な病気で、どの医療機関を受診したらよいか分からないときなどには、#7119またはTEL 048-824-4199を利用しましょう。

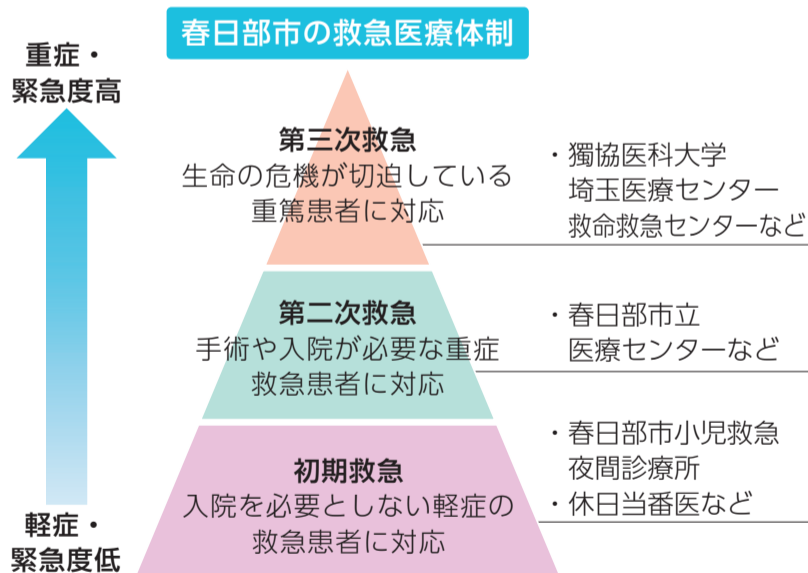
また、チャット形式のフリー入力で相談できる「AI 救急相談」では、入力した相談内容で可能性のある症状や対処法を案内します。



▲AI 救急相談

3 休日・夜間の急な病気は、まず初期救急医療機関を受診する(15面参照)

診察の結果、入院や手術などの治療が必要な場合は、二次救急医療機関に転送されます。



自動体外式除細動器(AED)で命を救う

AEDは、心臓の状態を正常に戻す医療機器です。電源を入れると音声で操作方法を順に指示するので、皆さんでも使用することができます。

日頃からAEDの設置場所を確認しておき、一人でも多くの人の命を救うために役立てましょう。

① 埼玉県内の設置場所は、「埼玉県AEDマップ」で検索できます

② AEDを貸し出します

貸出期間 …貸出日を含め、7日以内

対象 …市や自治会などが主催、共催、後援または協賛する行事の他、市民が主催する営利を目的としないイベントなど。ただし、消防署などが実施する救命講習を修了した人などがイベント開催期間中に会場にいること

申し込み …事前に電話連絡の上、救命講習修了証などの写しを添えて直接、市役所第二別館2階健康課、春日部市保健センター、または消防本部2階警防課へ



▲AEDマップ

第32回「埼玉人権を考えるつどい」～出会い ふれあい 思いやり～

問 人権共生課(内線2434)、社会教育課(内線4815)

人権の21世紀といわれる中で、埼玉市町の地域における人権問題に取り組むさまざまな団体が主体となり、行政とともに部落差別をはじめとしたあらゆる人権問題の早期解決に向けて、地域間の交流を通じて、地域住民の人権意識の高揚と正しい理解を図ることを目的に開催されます。

この事業は「人権尊重社会をめざす県民運動」事業として実施するものです。

主催…人権啓発推進埼玉実行委員会

今年も、埼玉12市町の全児童・生徒が参加し、人権に思いを寄せたメッセージを形にし

た「10万人メッセージ」や「10万羽の折鶴」を会場内に展示します。平成23年度から毎年作成している「10万羽の折鶴」は、本年度で1,354,202羽になります。

とき

10/5(木) 9:30～16:00(受け付け9:00～)

ところ

越谷コミュニティセンター(越谷市)

内容

▶**歓迎行事**…小学生、高校生、市民団体による



南越谷阿波踊り ▶**大ホール**…高校生による書道パフォーマンス、越谷アルファーズによるパフォーマンス、幼稚園児による鼓笛演奏、市民団体によるよさこい創作ダンス、手話と声による合唱、ジャズ演奏、ダンス、小・中学生による吹奏楽・合唱 ▶**屋外ステージ**…市民団体による健康体操、民謡・三味線、よさこいソーラン、南京玉すだれ ▶**展示など**…福祉施設、特別支援学校、埼玉12市町の人権に関する展示、高校生の書道作品、ミニ新幹線の運行 ▶**販売**…埼玉市町特産品、福祉施設などの物品販売